

平和外交と 女性の政治リーダーシップ

Women's Political Leadership and Peace Diplomacy

Register
要申込



IGS International Symposium

IGS 国際シンポジウム

Purpose 趣旨

近年、世界各地で武力紛争や政治的緊張が高まるなか、平和構築における女性の役割が改めて注目されている。国連安保理決議1325号に始まる「女性・平和・安全保障(WPS)アジェンダ」は、紛争下や和平プロセスにおける女性の参画と保護を国際社会の重要課題として位置づけてきた。

しかし、女性やマイノリティの政治参画は、紛争時だけでなく、平時の民主主義においても不可欠である。多様な声が政策・意思決定の場に対等に反映され、女性が政治・外交の場でリーダーシップを発揮することは、持続可能な平和外交の基盤となる。本シンポジウムでは、国際社会で活躍する登壇者を迎え、女性の政治リーダーシップと平和外交の関係を多角的に議論する。

Moderator モデレーター

申琪榮
Shin Ki-young

お茶の水女子大学 教授
Professor, Ochanomizu University



Speaker 登壇者



ビナイファー
ノウロジー

Binaifer Nowrojee

Open Society Foundations 代表



牧山ひろえ
Makiyama Hiroe

参議院議員
Member of the House of Councillors,
Constitutional Democratic Party of Japan



メルバ・プリーア
Melba Pría

駐日メキシコ合衆国特命全権大使
Ambassador of Mexico in Japan



三浦まり
Miura Mari

上智大学 教授
Professor, Sophia University



2026年7月30日(木)

16:30-18:00



日本語・英語(同時通訳有り)

Japanese and English (simultaneous interpretation provided)



お茶の水女子大学
Ochanomizu University
共通講義棟2号館201室
Common Lecture Building, Room 201

主催：お茶の水女子大学ジェンダー研究所
Institute for Gender Studies, Ochanomizu University,

共催：グローバルリーダーシップ研究所
Institute for Global Leadership

Supporting Organizations
Open Society Foundation, Embassy of Mexico,
Academy for Gender Parity